

10-1 九州地方とその周辺の地震活動（2009年11月～2010年4月）
Seismic Activity in and around the Kyushu District
(November 2009 – April 2010)

気象庁 福岡管区気象台
Fukuoka District Meteorological Observatory, JMA

今期間、九州地方とその周辺で M4.0 以上の地震は 40 回、M5.0 以上は 3 回発生した。このうち最大は、2010 年 1 月 15 日に沖縄本島北西沖で発生した M5.6 の地震である。

2009 年 11 月～2010 年 4 月の M4.0 以上の地震の震央分布を第 1 図 (a) 及び第 1 図 (b) に示す。主な地震活動は以下のとおりである。

(1) 奄美大島近海の地震 (M4.8, 最大震度 4, 第 2 図)

2010 年 1 月 7 日に奄美大島近海で M4.8 の地震 (最大震度 4) が発生した。

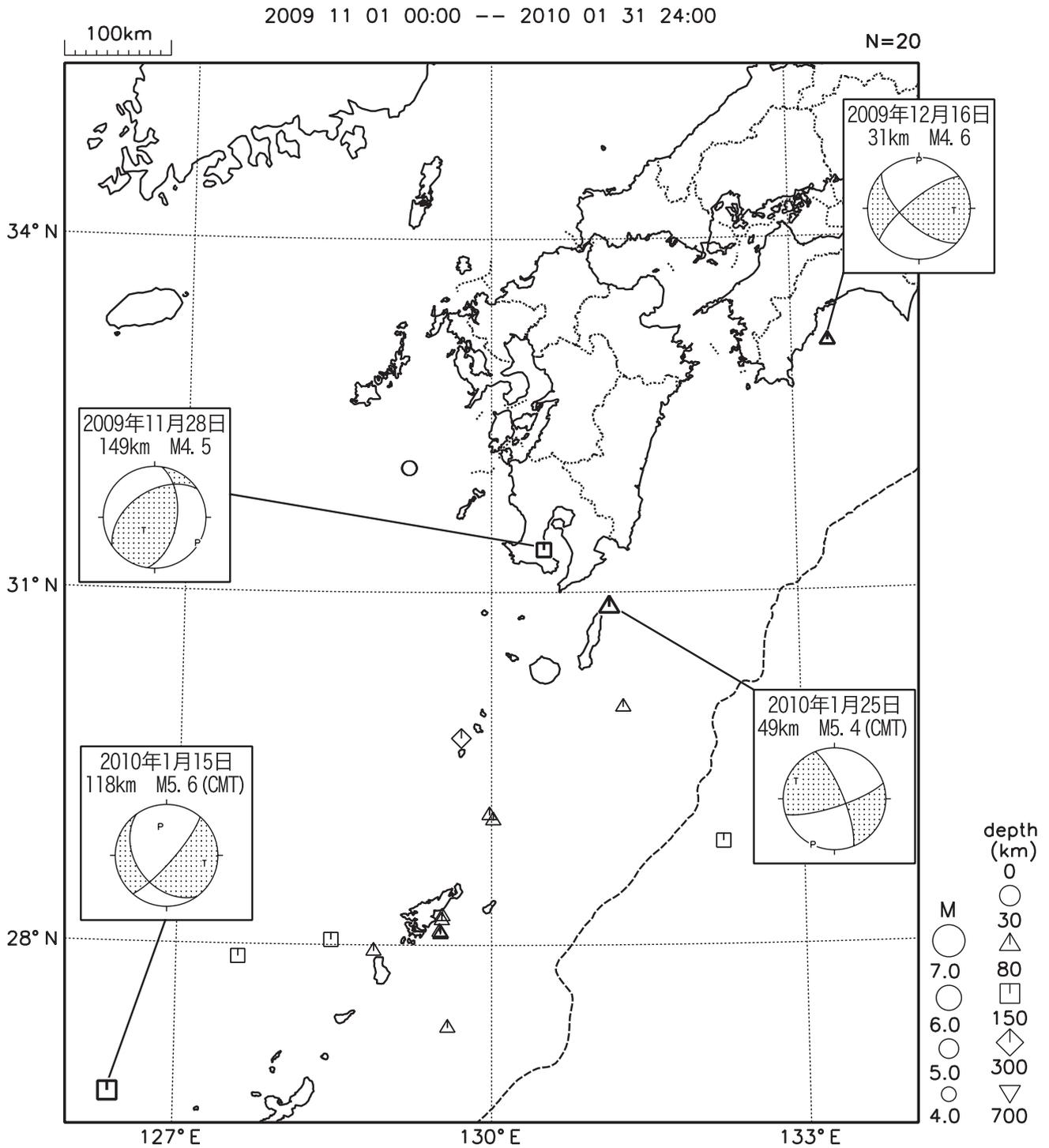
1984 年以降、今回の地震の震央周辺では、2001 年 12 月 9 日に発生した M6.0 の地震 (最大震度 5 強) や、2008 年 7 月 8 日に発生した M6.1 の地震 (最大震度 5 弱) 等、M6.0 以上の地震が発生している。

(2) 大隅半島東方沖の地震 (M5.4, 最大震度 4, 第 3 図)

2010 年 1 月 25 日に大隅半島東方沖の深さ 49km で M5.4 の地震 (最大震度 4) が発生した。発震機構 (CMT 解) はフィリピン海プレートの沈み込む方向に張力軸を持つ型で、フィリピン海プレート内部で発生した地震である。

1984 年以降、今回の地震の震央周辺では、M6.0 以上の地震がたびたび発生しており、1996 年 10 月 18 日には M6.4 の地震 (最大震度 4) が発生し、種子島で 17cm の津波を観測している。

九州地方とその周辺の地震活動 (2009年11月～2010年1月、 $M \geq 4.0$)

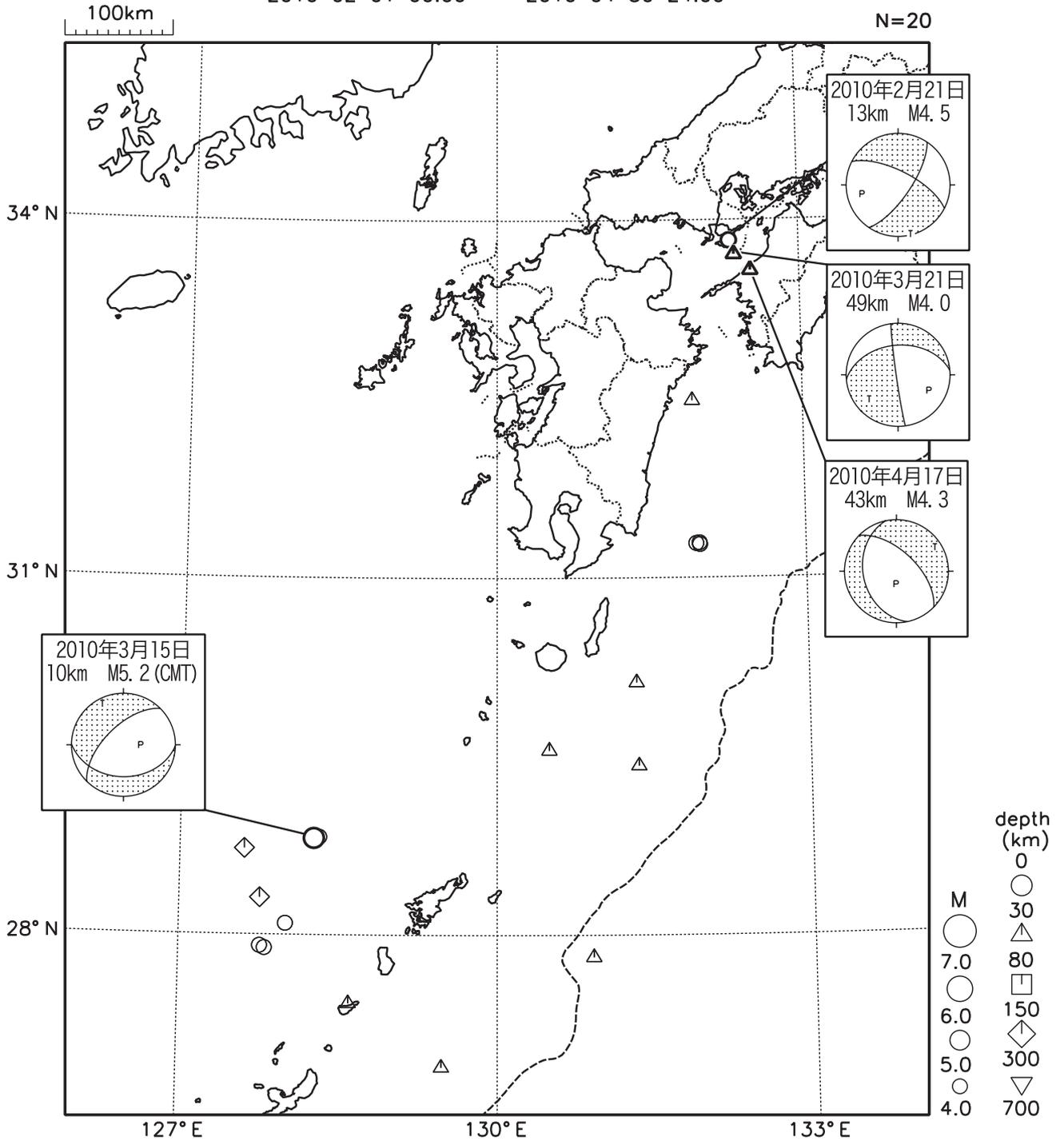


図中の吹き出しは、陸域 $M4.0$ 以上・海域 $M5.0$ 以上

第1図 (a) 九州地方とその周辺の地震活動 (2009年11月～2010年1月、 $M \geq 4.0$ 、深さ ≤ 700 km)
Fig.1(a) Seismic activity in and around the Kyushu district (November 2009 – January 2010, $M \geq 4.0$, depth ≤ 700 km).

九州地方とその周辺の地震活動 (2010年2月～4月、 $M \geq 4.0$)

2010 02 01 00:00 -- 2010 04 30 24:00



図中の吹き出しは、陸域M4.0以上・海域M5.0以上

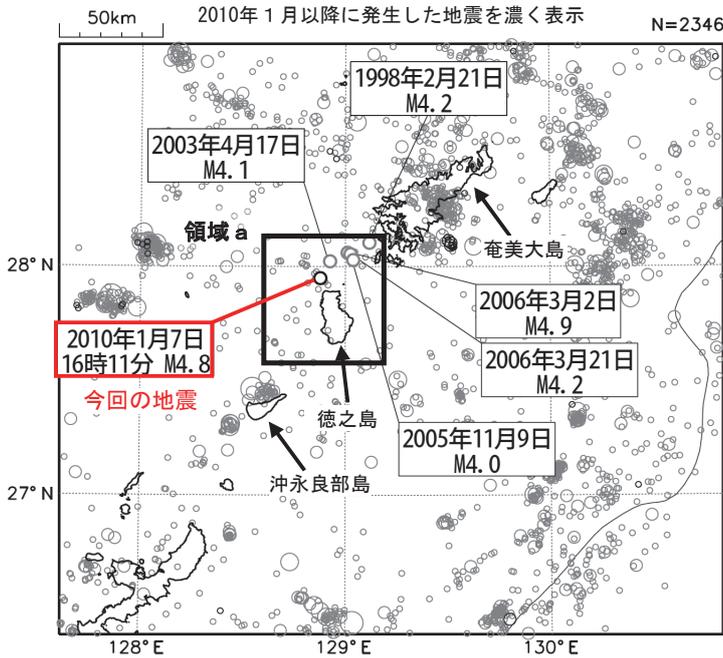
第1図 (b) つづき (2010年2月～4月、 $M \geq 4.0$ 、深さ ≤ 700 km)
Fig.1(b) Continued (February - April 2010, $M \geq 4.0$, depth ≤ 700 km).

1月7日 奄美大島近海の地震

M4.8、最大震度4

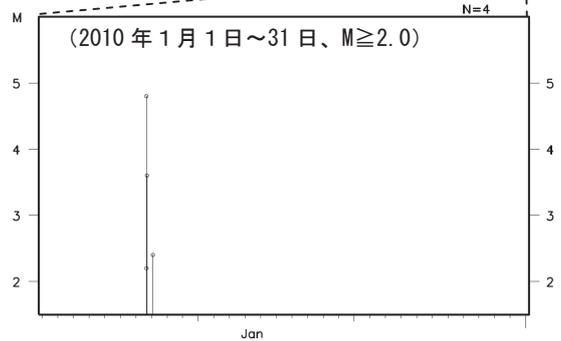
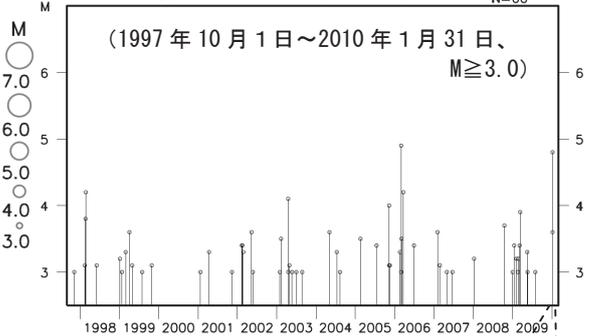
震央分布図

(1997年10月1日～2010年1月31日、深さ0～90km、M \geq 3.0)

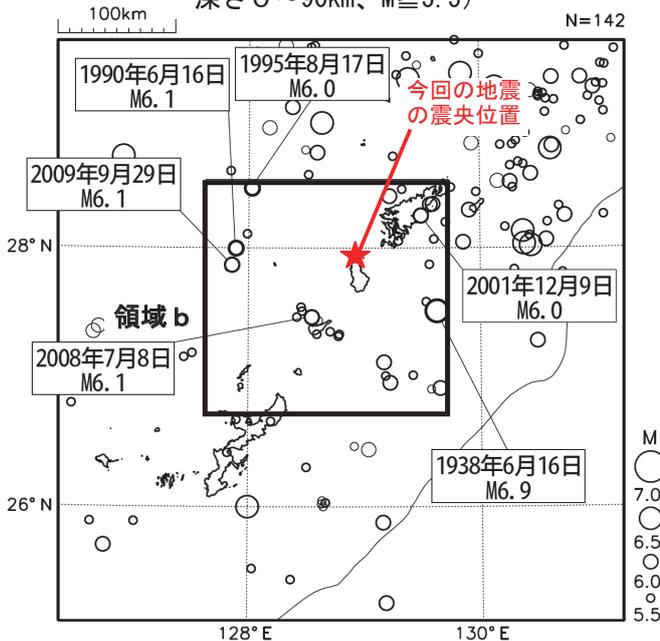


2010年1月7日16時11分に奄美大島近海でM4.8の地震(最大震度4)が発生した。余震は1日程度でおさまっている。1997年10月以降の活動を見ると、今回の地震の震央付近(領域a)では、M4～5程度の地震が時々発生しているが、M5.0以上の地震は発生していない。

領域a内の地震活動経過図

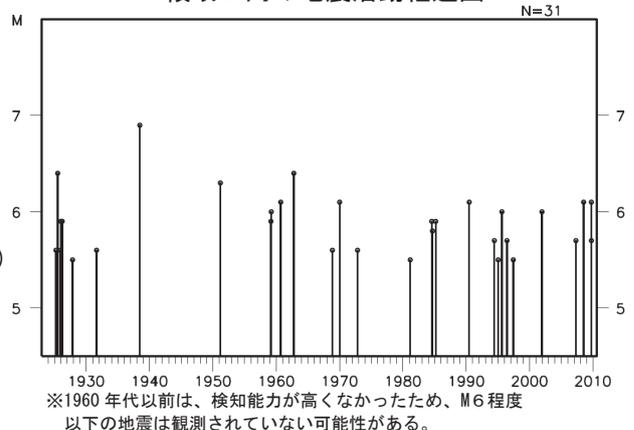


震央分布図 (1923年8月1日～2010年1月31日、深さ0～90km、M \geq 5.5)



1923年8月以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺(領域b)は、M6.0以上の地震がしばしば発生している領域である。

領域b内の地震活動経過図



第2図 2010年1月7日 奄美大島近海の地震

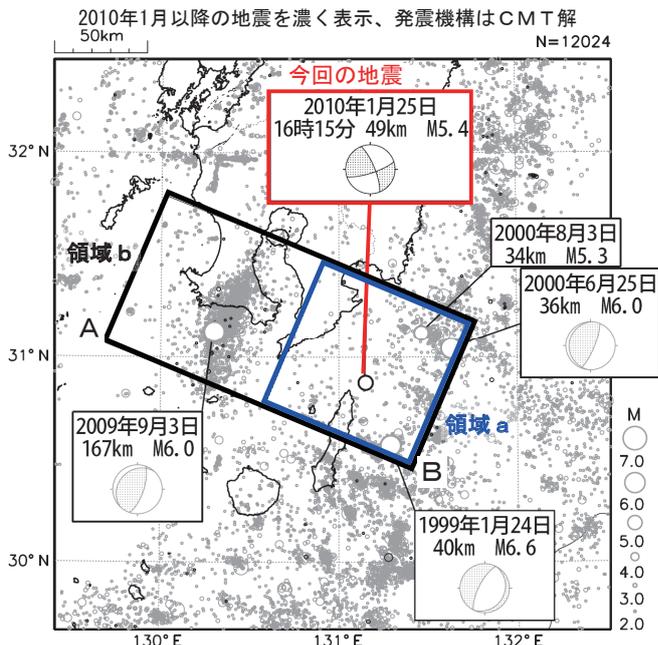
Fig.2 The earthquake in and around Amami-oshima Island on January 7, 2010.

1月25日 大隅半島東方沖の地震

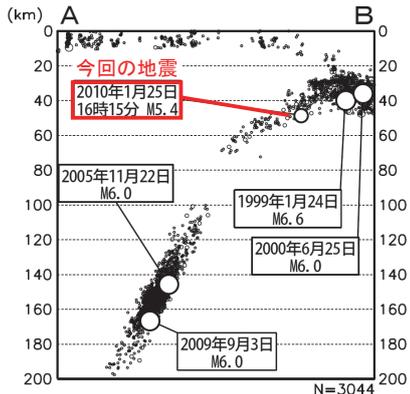
フィリピン海プレート内部の地震、M5.4、最大震度4

震央分布図

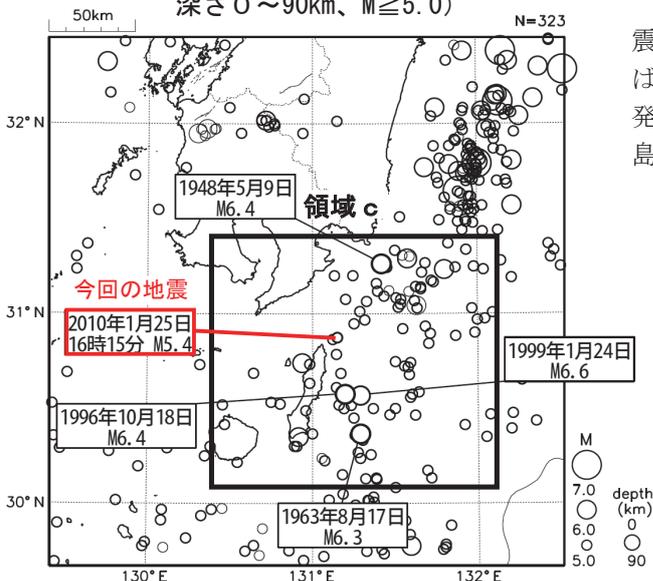
(1997年10月1日～2010年1月31日、深さ0～200km、M \geq 2.0)



領域bの断面図 (A-B投影)



震央分布図 (1923年8月1日～2010年1月31日、深さ0～90km、M \geq 5.0)



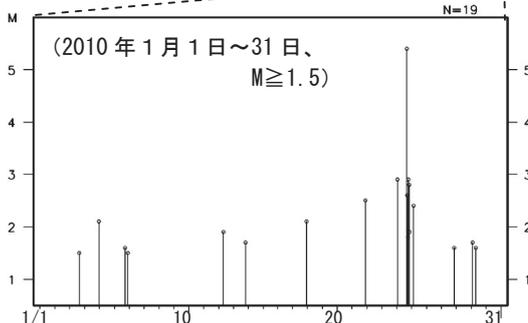
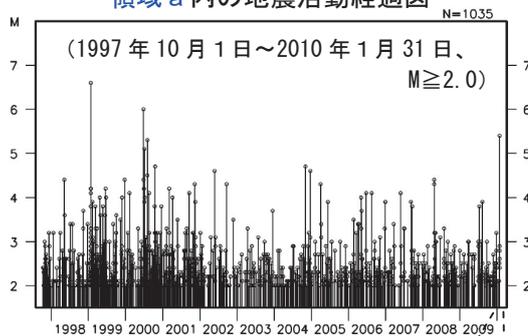
第3図 2010年1月25日大隅半島東方沖の地震

Fig.3 The earthquake east off the Osumi Peninsula on January 25, 2010.

2010年1月25日16時15分に大隅半島東方沖の深さ49kmでM5.4の地震(最大震度4)が発生した。今回の地震の発震機構(CMT解)はフィリピン海プレートの沈み込む方向に張力軸を持つ型で、フィリピン海プレート内部で発生した地震と考えられる。余震活動はおさまっている。

今回の地震の震央付近(領域a)でM5.0以上の地震が発生したのは、2000年8月3日のM5.3の地震(最大震度3)以来である。

領域a内の地震活動経過図



1923年8月以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺(領域c)は、M6.0以上の地震がしばしば発生している領域である。1996年10月18日に発生したM6.4の地震(最大震度4)では、種子島で17cmの津波を観測している。

領域c内の地震活動経過図

